

2004年8月13日

会社名 株式会社 高島屋  
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治  
 コード番号 8233

## 2004年7月度 高島屋営業報告

- \* 本年6月1日をもって、立川店レストラン街の運営を東神開発㈱に移管しました。  
 \* 分社化した4店の売上を本年に含め、立川店の前年数値を調整した全18店計前年対比を**実質**数値として表記しております。

**百貨店事業概況** 本年 -10.2 **実質** -2.4 (前年比%)

7月度は、猛暑の影響により「サングラス」、「日傘」など季節アイテムの動きが良く、クリアランスセールが好調だった東京店・玉川店・新宿店が牽引し、関東各店は前年を確保したが、関西各店は、お中元早期割引(中元・初)による、食料品(前年比-9.2%)の6月への前倒しが大きく、また、月末土曜の台風接近もあり、前年を下回った。18店計実質前年比は-2.4%となった。

### 店舗別概況

| 関西   | 本店   |      |      |       |       |       | 関西計   |      |
|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|
|      | 大阪店  | 京都店  | 泉北店  | 岡山高島屋 | 岐阜高島屋 | 米子高島屋 | 本年    | 実質   |
| 売上   | -6.2 | -5.5 | -6.5 | -4.3  | -11.2 | -5.5  | -19.8 | -6.2 |
| 入店客数 | 0.1  | -2.8 | -2.2 | 3.8   | -9.8  | -2.6  |       |      |

\* 大阪店には和歌山店・堺店、京都店には洛西店の売上を含む

| 関東   | 本店   |      |     |      |      |      |      |       | 関東計  |     |
|------|------|------|-----|------|------|------|------|-------|------|-----|
|      | 東京店  | 横浜店  | 新宿店 | 玉川店  | 立川店  | 大宮店  | 柏店   | 高崎高島屋 | 本年   | 実質  |
| 売上   | 3.7  | -3.0 | 0.3 | 10.4 | -3.7 | -7.4 | -1.9 | -0.9  | -3.3 | 0.3 |
| 入店客数 | 11.1 | 0.7  | 0.1 | 9.8  | 10.6 | 0.7  | 3.6  | 2.6   |      |     |

\* 横浜店には港南台店の売上を含む

\* 立川店:実質-0.4%

<店舗別> 東京店では、紳士服(前年比+6.9%)、婦人服(前年比+5.4%)、婦人雑貨(同+8.3%)、特選衣料雑貨(同+24.4%)が好調に売上を伸ばし、改装後、20~30代の女性やカップル顧客の増加により、ゆかた(同+25%)や水着(同+68%)も売上を伸ばした。また、新宿店では紳士服(同+10.1%)、紳士雑貨(同+13.0%)が、玉川店では紳士服(同+8.5%)、紳士雑貨(同+13.4%)、婦人雑貨(同+22.1%)、特選衣料雑貨(同+38.5%)が好調に推移した。一方、関西各店は、紳士服(同-6.4%)、婦人服(同-6.8%)など衣料品の低迷により苦戦した。

### 広域事業概況

| 法人   | 通販    | 広域計 |
|------|-------|-----|
| 21.2 | -25.6 | 1.2 |

<広域事業> 法人事業は、大型物件の受注増により前年を上回ったが、通信販売事業は、カクゴ「夏企画」、「夏特別号」において部数調整や頁減もあり、ファッション品、リビング用品共に低迷し前年を下回った。

### 総計

| 本年   | 実質   |
|------|------|
| -9.6 | -2.2 |

### 商品別概況 (百貨店協会商品区分)

|        | 本年    | 実質   |        | 本年    | 実質    |       | 本年    | 実質   |
|--------|-------|------|--------|-------|-------|-------|-------|------|
| 紳士服・用品 | -5.8  | 0.9  | 身のまわり品 | -3.3  | 2.6   | 食料品   | -13.0 | -5.2 |
| 婦人服・用品 | -10.8 | -2.5 |        |       |       | 食堂・喫茶 | -6.6  | 9.9  |
| 子供服・用品 | -9.3  | -1.6 | 家具     | -13.4 | -7.8  | 雑貨    | -4.4  | 2.2  |
| その他衣料品 | -17.3 | -5.7 | 家電     | -22.9 | -14.7 | サービス  | 9.1   | 12.7 |
| 衣料品計   | -10.2 | -2.0 | その他    | -15.7 | -11.0 | その他   | -10.8 | -7.1 |
|        |       |      | 家庭用品計  | -15.4 | -10.2 | 合計    | -9.6  | -2.2 |

<店頭商品別> 猛暑により、婦人帽子(前年比+23%)、扇子(同+28%)、サングラス(同+21%)、バラソル(同+87%)が売上を伸ばした婦人雑貨(同+1.5%)、改装後の店舗が牽引した、紳士服(同+0.4%)・紳士雑貨(同+2.3%)・特選衣料雑貨(同+1.6%)・食堂(同+9.8%)、催が好調な美術(同+10.7%)が前年を上回ったが、婦人服(同-3.2%)、宝飾品(同-6.7%)、ハビ--子供(同-2.1%)、食料品(同-5.2%)は前年を下回った。

以上